

青少年の問題行動・非行・犯罪・被害の未然防止と子ども・若者に関する相談・支援についてのお知らせです。

高島市

# 少年センター・あすくるだより

高島市新旭町北畑565番地 TEL:0740-25-8556

## 子どもの声を聴いていますか？

「勉強しなさい！」「はやく～しなさい！」と言っていますか？

高島市少年センター・あすくる高島 参与 上野 眞

子どもが育つときに大事なことは、子どもが「自分の気持ちを受けとめてもらえた」と感じることです。それには、周りの大人が子どもの話をていねいに「聴く」ことが大切です。

ところが「最初は聴こうとしているんですけど、子どもの話は要領を得なくて・・・。」「イライラして、つい話をさえぎって『だからなんなん？』って怒ってしまいます。」「こちらが忙しい時に限って話しかけてくるから・・・。」という保護者の声をよく耳にします。

また、子どもから「明日学校に行きたくない」と言い出されたら、「どうしたの？学校で何かあったの？」と、つい原因をさぐり、詰め寄りたくなりますね。でも原因が取り除かれたからといって、すぐに学校に行けるかといえば行けません。この時大事なことは「学校に行きたくないんだね」とまず子どもの「行きたくない」気持ちを受けとめ、そして子どもの話をていねいに「聴く」ことです。

### 言っではいけないNGワード

子どもに良かれと思って言っているのに、ちっともいうことを聞かない、逆に反発される・・・。

そんなとき、このような言葉かけをしていないでしょうか。

NGワード①「ダメ」②「はやくしなさい」③「勉強しなさい」④「ゲームやめなさい」⑤「片付けないと捨てちゃうよ」⑥「～しないとおばけ（鬼）がくるよ」⑦「お姉ちゃんだから／男の子だから」⑧「～ちゃんは〇〇してるよ」⑨「～したら、〇〇あげる」⑩「100点とってすごいね」①②③④は、威圧で子どもの行動をコントロールしようとする言葉かけです。一瞬は聞くかもしれませんが恐怖を与えているだけで、子どもにはなぜ「ダメ」なのかかわからず、納得していないので繰り返します。⑤⑥は、脅かして聞かそうとしても、実際は起こらないため、逆に不信感につながります。⑦⑧の「お姉ちゃんだから我慢しなさい」は、何で我慢しなければならないのという反発しか生まれません。人と比べると人を恨む子になります。⑩の100点とか優勝とか、結果だけをほめると、結果が出せなかったとき自分はダメだと思うようになります。これらの言葉かけは、子どもの心を傷つけ、自信を失わせてしまいます。

大事なものは、心の芯を太くしてあげることです。自信とか自尊心、自己肯定感を高めてあげることが大切です。そのためには、子どもの間にいろいろな体験をさせて、興味を広げ、できることを増やしてあげる、できたことを親子で喜び経験を増やしてほしいです。少年センター・あすくるでは、少年たちとメダカつかみをしたり、モノを作ったり、料理をしたり、いろいろな活動を行っています。その時私たちは、子どもらしい素直で優しい輝きを感じています。

長い人生を生き抜くには、つらいことや苦しいこともたくさんあります。そこを頑張りぬくには、周りの人から認められ、自分にはこんな力があるんだと、自信がもてることがとても大切だと思います。





ネット・スマホのある時代の子育て

保護者が正しく知っておきたい大切なポイント

～高島の子どもたちを犯罪から守るために～

『ネット・スマホのある時代の子育て (児童・生徒編) 保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント』  
(内閣府・内閣官房・警察庁・消費者庁・総務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省)

[https://www.8caogo.jp/youth/kankyou/internet\\_use/leaflet.html](https://www.8caogo.jp/youth/kankyou/internet_use/leaflet.html) を加工して、高島市少年センターで作成

高島市の小中学校でも子どもたちに1人1台のタブレット端末が確保され、学習面での使用が進んでいる状況です。より身近なものとなることで、各家庭でのインターネットやスマートフォンの使用時間も増えてきていないでしょうか。コロナ禍において、コミュニケーションや息抜き、生活面のサポートなど、便利なツールとなってきている今だからこそ、子どもたちには、トラブルを避けて上手く使いこなせるよう、スキルを身につけていってほしいと思います。

お子さまがインターネットやスマートフォンを持つようになったら、どんなことに気をつければよいのでしょうか？新しく自分のスマホ、タブレットを持つときが、ルール作りのベストのタイミングです。親子双方が自分の意見をしっかりと出し合い、少しずつ妥協しあったルールは長続きします。お互いが納得し、双方が尊重できるルール作りをすることが重要です。

Point 1 時間の長さだけでなく中身に着目

何にどのくらいつかっているのかを、一緒に確認しましょう

学習での活用も増え、子どものインターネット利用時間はより一層長くなっています。

「いつまでやってるの!？」と頭ごなしに叱らず、子どもがどんな使い方をしているのか、内容と時間を把握することが大切です。

どのカテゴリにどれくらい使ったかを確認するにはスクリーンタイム (iPhone) やデジタルウェルビーイング (Android) が便利です。

利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、上手に活用しましょう。

スクリーンタイム (iOS12以上) Digital Wellbeing (Android10以上)



これらのツールを活用するための大切なポイントは、設定変更の際には必ず相談するように促すことです。親子で一緒に「利用時間コントロール」をしてみてくださいか？

Point 2 SNS 等でのいじめや誹謗中傷、どう対処すべき？

相談しやすい親子関係を作り、話はじっくり聞いてあげましょう

子どもが1人で悩みを抱えないためにも、普段から「困ったら何でも相談にのるよ」と声をかけましょう。そうすると子どもは相談しやすくなります。

相談されたときには、子どもの話をじっくりと聞いてあげてください。保護者が大騒ぎしてしまうと、相談しにくくなってしまうこともあります。じっくり聞いたうえで「どうしたい?」と聞いてあげましょう。

誹謗中傷等のやり取りは、スクリーンショットなどで保存し、いつ何が起こったのかを明確に記録しておくことが大切です。必要に応じて専門家にアドバイスを求めましょう。

気軽な投稿が、他人を傷つけるおそれがあること、インターネットにあげた言葉や写真等は後から削除しできないことも、子どもに伝えましょう。

いざというときの相談窓口

#9110 警察相談専用電話



子どもの人権110番 (法務局・地方法務局)



違法・有害情報 相談センター



インターネット上の誹謗中傷に関する相談窓口のご案内

インターネットの書き込みにより、誹謗中傷などの被害にあわれた場合における相談窓口のご案内です。ご自身の希望に添った相談窓口にお問い合わせください。

#9110は、発信地を管轄する警察本部等の総合窓口へ接続されます。生活の安全に関わる悩みごと、困りごとなど、緊急ではない相談の窓口です。

子どもの人権全般に関する相談窓口です。全国共通・通話料無料(受付時間:平日8時30分~17時15分) 0120-007-110

相談者自身で行う削除依頼の方法等を、インターネットに関する技術や制度等の専門知識・経験を有する相談員が迅速にアドバイスします。 https://www.ihaho.jp/

高島市少年補導委員会

高島市少年補導委員会は、高島警察署長ならびに高島市長から委嘱を受けた45人で構成されています。

去る4月23日(金)、令和3年度少年補導委員会総会・研修会を開催しました。当日は、「令和2年度事業報告」、「令和3年度事業計画(案)」について提案があり、承認されました。すでに、この事業計画に基づき、活動を始めています。

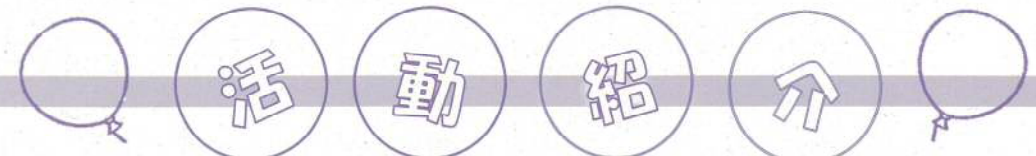
総会後の研修会では、事務局でもある高島警察署生活安全課が中心となり、出前啓発活動として「おでかけ隊」で行っているロール絵本「うたこちゃん危機一髪」の実演を行いました。毎年市内の小中学校に出向き、誘拐防止教室を行っている補導委員さんも多く、本番さながらの研修会となりました。



総会の様子



ロール絵本実演 「うたこちゃん危機一髪」



高島市少年補導委員会は、青少年の健全育成と非行・犯罪・被害の未然防止をめざして、高島警察署・高島市少年センター・関係団体と協力して活動を行っています。

●街頭補導活動●

- 統一街頭補導として今津、新旭、安曇川を重点地域として定期的にパトロールしています。
- 地区(旧町村)ごとに計画を立て、子どもたちの登校時に「おはよう」の朝の声かけをしたり、地域のイベント等でパトロールをしたりしています。
- 学校の長期休みや歳末に特別パトロールを行っています。
- 不審者情報や凶悪事件発生情報による臨時パトロールを必要に応じて行います。

●啓発活動●

- 出前啓発活動として「おでかけ隊」による寸劇やロール絵本を市内園・学校で行っています。
- 各種強調月間(7月・11月)に合わせて、大型店舗前で啓発活動を行っています。

●連携・交流●

- 市内小・中学校の学校行事や授業参観等に出向き、教師や児童生徒との交流を図っています。
- あすくる高島に通所する少年との「ふれあい活動」を大切にしています。

少年補導委員会では、これらの活動において、積極的に青少年との関わりを持つことで顔見知りになり、声掛けがしやすい関係性を保つことを大切に、その中で心の居場所となり、お互い学びあっていきたいと考えています。



街頭補導活動と特殊詐欺、盗難防止の啓発活動の様子



# 相談・支援活動のあらましと令和2年度実績

## ●青少年相談(小学生～20歳になる年齢)

○相談件数

	総数
面談	745
電話	404
メール	46
合計	1,195

○相談者別件数

	総数
本人	399
家族	330
学校	165
関係機関	255
職場	12
その他	34
合計	1,195

○学職別人数

	総数
小学生以下	19
中学生	30
高校生	33
その他学生	4
無職少年	11
有職少年	18
合計	115

○相談内容別件数

	総数
学校・学業	252
家庭	222
不登校	186
しつけ・生活	142
就職・仕事	134
心の病	50
交友	49
発達障がい	12
健康・身体	10
いじめ	7
たかり・恐喝	7
虐待	7
道路交通法違反	6
家出	4
暴力行為	2
校内暴力	2
家庭内暴力	1
その他	102
合計	1,195

## ●青少年支援(おおむね中学生～20歳になる年齢)

○支援人数 15人

○支援件数

支援種別	総数	支援内容一例
自分探し支援	145	面談・スポーツ・調理など
就労支援	109	履歴書作成など
生活改善支援	94	通所・登校支援など
家庭支援	85	保護者面談など
就学支援	49	課題支援・進路支援など
合計	482	

## ●若者相談(20歳～30歳代)

「子ども・若者育成支援推進法」を受け、「高島市子ども・若者総合相談窓口」を開設し、20歳から39歳までの本人およびご家族等の相談も行っています。

○相談人数32人(20代:20人, 30代:12人)

○相談者別件数

	総数
本人	170
家族	130
関係機関	48
その他	6
合計	354

○相談内容別件数

	総数
ひきこもり	41
生活	130
就労	126
就学	9
心の病	35
その他	13
合計	354

# 子ども・若者支援センター “あすくる高島”

〒520-1592

高島市新旭町北畑565番地(高島市役所新館2階)

TEL:0740-25-8556

FAX:0740-25-8071

相談専用 TEL:0740-25-8555

相談時間9:00~17:00(月曜日~金曜日)

★土日や時間外の面接相談を希望される方は、事前にご連絡ください。



活動費用の一部にふるさと納税を活用しています。



環境に配慮し、古紙配合率70%以上の再生紙及び植物油インキを使用しています